

【第7回アフリカ開発会議サイドイベント】

アフリカ科学技術のための高度人材育成と大学間連携

国際協力機構（JICA）は、8月27日、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルにて、アフリカ科学技術発展のための大学間ネットワークの構築をテーマに、国際シンポジウムを開催しました。アフリカ地域持続可能な開発目標センター（SDGC/A）のベライ・ベガシャウ総裁をはじめ、ベライ・カッサ汎アフリカ大学（PAU）学長、ヴィクトリア・ングミ ジョモケニヤッタ農工大学（JKUAT）学長、エルゴハリ日本・エジプト科学技術大学（E-JUST）学長等を登壇者に迎え、総勢100名が参加しました。

鈴木 JICA 理事の開会挨拶に始まり、ベライ SDGC/A 総裁はアフリカ高等教育強化に向けたキガリ・イニシアティブ¹について、田中政策研究大学院大学（GRIPS）学長は外務大臣科学技術顧問による提言書「日本による科学技術外交～イノベーション・エコシステムの実現をアフリカと共に～」について紹介しました。

続いて、アフリカ科学技術分野の高度人材育成に取り組むアフリカの拠点大学、本邦大学、世界銀行の代表者を迎え、パネルディスカッションを行いました。その中で、アフリカの開発における科学技術イノベーション（STI）の課題や展望、日本、アフリカ地域、アジア地域の教員および研究者のネットワーク形成の重要性、教育、研究面での連携強化、また、これらの取り組みをスケールアップするための開発パートナー間の連携強化について議論しました。

最後に、モデレーターの角南 GRIPS 学長特別補佐より、アフリカの高等教育分野の発展に向けて、今後継続的な議論を行うことの重要性について言及がされました。

¹ 2017年7月にSDGC/A主催のアフリカ地域高等教育機関の質向上のために開催された国際会議の成果物として、①2030年までにアフリカのニーズに基づく評価により、世界上位300校のうち25校をアフリカの大学が占める、②アフリカの大学副学長のネットワークの構築、③2017年中のアクションプランの作成等について、ルワンダ国ポール・カガメ大統領、ルワンダ、ガーナ、ニジェール、ジブチの各国教育大臣、ジェフリー・サックス SDSN 所長の他、アフリカ域内大学副学長等の教育関係者と合意したもの。

■本イベントの主な登壇者

【開会挨拶】 鈴木規子 JICA 理事

【発表者】 ベライ・ベガシャウ アフリカ地域持続可能な開発目標センター総裁

田中明彦 政策研究大学院大学 学長

【パネリスト】

- ① 角南篤 政策研究大学院大学 学長特別補佐
- ② ベライ・カッサ 汎アフリカ大学 学長
- ③ ヴィクトリア・ングミ ジョモケニヤッタ農工大学 学長
- ④ エルゴハリ 日本・エジプト科学技術大学 学長
- ⑤ アハマド・バワ 南アフリカ大学協会 会長
- ⑥ サジータ・バシール 世界銀行 教育アドバイザー
- ⑦ 渡邊公一郎 九州大学 副理事

■写真



■関連する SDGs ゴール :

